一関工業高等専門学校 共通専門科目					門科目	開講年度 平成25年度 (2013:			年度)		
学科	学科到達目標										
			科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数					
₹N F	∃I⊽					1年 2年	3年	4年	5年	切兴数	屋修⊢
科目分		授業科目				前後前後	前後	前 後	前 後	担当教员	履修上の区分
						1 2 3 4 1 2 3 4 Q Q Q Q Q Q Q	1 2 3 4 Q Q Q Q Q	1 2 3 4 Q Q Q Q	1 2 3 4 Q Q Q Q		
専門	選択	工業英語	0001	履修単 位	1				2	未定	
専門	選択	実践工学	0002	履修単 位	1				2	八貴田小宣見民演幸戸藤実野明原樹渡治	
専門	必修	校外実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	0003	履修単位	1				集中講義	中嶋 剛二階 営満	

. I 关	工業高等	 事門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目] 実践工学		
科目基礎			און נושטען	1 1-74-5 1 134 (/^/\			
科目番号	L IHTK	0002			科目区分	事明 /	255+□		
							専門 / 選択 履修単位: 1		
授業形態		講義			単位の種別と単位 対象学年		1 <u>1</u> 1. 1		
開設学科			共通専門科目			5			
開設期		前期			週時間数	2			
教科書/教	(材	なし(自作	作資料を活用)						
担当教員		八戸 俊貴	,藤田 実樹,小野 宣	明,貝原 巳樹雄,滝	渡 幸治				
到達目標	<u> </u>	•							
実践的技術 【教育目標	析者育成お。 票 】 C, D, I	E	教育の一環として, 3, D-2, E-1, E-2		空学び, 高度な実践	的技術者を求め	める地域の要請に応える資質を養う.		
ルーブリ	Jック								
,, , ,			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レー	ベルの目安	未到達レベルの目安		
			-	<u></u>			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
知的財産:	1		解した上でそれ	かなび皇女性を培 らを具体的にかつ 明することができ	知的財産の概要。 解した上でそれ 説明することが	らを簡単に他者	注 知的財産の概要および重要性を理 に 解できない。さらに他者に説明す ることができない。		
知的財産	2		特許取得に耐えを提案することが	うる優秀な発明案 ができる。	比較的標準的なことができる。	発明案を提案す	る 発明案を提案することができない。		
工学倫理:	1		解した上でそれ	および重要性を理 らを具体的にかつ 明することができ	工学倫理の概要は解した上でそれ 説明することが	らを簡単に他者	工学倫理の概要および重要性を理解できない。さらに他者に説明することができない。		
工学倫理	2		ンド、リコール、	かかわる企業ブラ ・企業倫理、PL法 た上ででそれらを 細に他者に説明す	工学倫理に深くだい リコール を理解した上で者に説明するこ	、企業倫理、PI それらを簡単に	L法 ンド、リコール、企業倫理、PL法		
学科の習	引達日煙T	 頁目との関	-				1		
		RUCORI	1/18						
教育方法	太寺								
概要		事項および	所者に求められている社会人力の入門的な知識を学ぶ、具体的には特許申請などに関係する知的財産 ドエ学倫理の2つを柱とする。						
授業の進め	め方・方法	moodle^	グループワークを中心に進めていく.また,知財の最終回には発表も行う.授業に関する連絡は,主として へのファイル(PDF等)アップロードにより行う.						
		注意点 ・配布資料	料は全てMoodleにご			1oodleへのアッ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
		・用【・場・【・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	て熟知しておくこと 習】 受業において,必要 ブレットなどを利用 を使用しないことか ま・基準の 大学倫理の各課題で	アップロードする. でに応じてMoodle: 目して常に資料を見 いら、授業前に資料 でデアプレゼン(50 東数1) (100%)で で学倫理(30%)と	また課題提出もMから資料をダウンにあることができるよりを確認し、授業内]ードして印刷 うな環境にして 容の把握に努&	・プロードを主とするため, Moodleの利 し準備しておくこと. 資料を印刷しない こおくこと. うること. 明提案書(50%)で評価する.		
	<u> </u>	・用【・場・【・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	て熟知しておくこと 習】において、必明 受業において、必列 がレットないこ を使事と を・基準の各課題で 発明に課題(課題 理は提出財(70%)、 理は知以上を単位信 60点以上を単位信	アップロードする. でに応じてMoodle: 目して常に資料を見 いら、授業前に資料 でデアプレゼン(50 東数1) (100%)で で学倫理(30%)と	また課題提出もMから資料をダウンにあることができるよりを確認し、授業内]ードして印刷 うな環境にして 容の把握に努&	・ し準備しておくこと. 資料を印刷しない こおくこと. りること. 明提案書(50%)で評価する.		
	<u> </u>	・用『・場・『・場・『・場・『・場・『・場・『・場・『・場・』の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	て熟知しておくこと 習】において、必明 受業において、必利用 がしたないことを を使事と 一条には知り 一条では、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	アップロードする. でに応じてMoodle: 回して常に資料を見 して常に資料を見 いら、授業前に資料 で評価する. アププレゼン(50 数1) (100%)で で学倫理(30%)と 多得とする.	また課題提出もMから資料をダウンにあることができるよりを確認し、授業内	コードして印刷 うな環境にして 容の把握に努め トコンテスト発 週ごとの到達	し準備しておくこと. 資料を印刷しない こおくこと. かること. 明提案書(50%)で評価する. 目標		
	a	・用では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	て熟知しておくこと 習】において、、必要 受業において、必利用 で使用しないことか を使事準】 を表・学倫理は単語で 発神に関課題で 発は短期財(70%) 責60点以上を単位何 授業内容 オリエンテーション	アップロードする. でに応じてMoodle: を見して常に資料を見 して常に資料を見 いら、授業前に資料 ができまする. ではなり、100%)では では、100%)では では、100%)では では、100%)では では、100%)では では、100%)では、100%)では、100%と では、100%と	また課題提出もMから資料をダウンに さることができるよりを確認し、授業内の%)およびパテントする。	コードして印刷 うな環境にして 容の把握に努め トコンテスト発 週ごとの到達 実践工学の意	し準備しておくこと. 資料を印刷しない こおくこと. うること. 明提案書 (50%) で評価する. 目標 養と知財概要を理解できる.		
	a	・ 田では、 一	て熟知しておくこと 習】において、、必要 学業において、、必要 プレットないとでを を使用しないことか 発にはいました。 発明に関題の 里は提出課題の 異は知財(70%)、 異情(4知財(70%)、 関業内容 オリエンテーション 知知の法制度 + 特許	アップロードする. でに応じてMoodle: をはて常に資料を見 して常に資料を見 ではまする. アーププレゼン(50 数1)(100%)で で学倫理(30%)と を得とする.	また課題提出もMから資料をダウンに さることができるよりを確認し、授業内の%)およびパテントする。	コードして印刷 うな環境にして 容の把握に努め コンテスト発 週ごとの到達 実践工学の意 知的財産の概	し準備しておくこと. 資料を印刷しない こおくこと. 5ること. 明提案書 (50%) で評価する. 目標 養と知財概要を理解できる. 要と重要性を理解できる.		
	a	・用します。 おいま は 一	て熟知しておくこと 習】において、必要 学業において、必明 プレッ用しないことが を使事準】 全倫理の各するは 発明に課題の 里は提別が、1 重は知財(70%)、1 責60点以上を単位値 授業内容 オリエンテーション 知財の法制 知財課題演習(1回目 知財課題演習(1回目	アップロードする. でに応じてMoodle: 回して常に資料を見 りら、授業前に資料 でデ評価する. シープブレゼン(50 数1)(100%)で で学倫理(30%)と 多得とする. シー知財概要説明 で情報プラットフォ 目)	また課題提出もMから資料をダウンに さることができるよりを確認し、授業内の%)およびパテントする。	コードして印刷 うな環境にして 容の把握に努め コンテスト発 週ごとの到達 実践工学の意 知的財産の概 グループの案	・ し準備しておくこと. 資料を印刷しない こおくこと. らること. 明提案書(50%)で評価する. 目標 養と知財概要を理解できる. 要と重要性を理解できる. を決定し,類似発明を検索できる.		
	画	・用します。は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	て熟知しておくこと 習】において、必要 受業にかいて、必明 ジレットしないこと を使用しないこと ・基準 発明では理のとする 発明では知りでの。 理は提出財(70%)、 理は規財以上を単位 授業内容 オリエンテーション 制財課題演習(1回目 知財課題演習(2回目	アップロードする. でに応じてMoodle: 同して常に資料を見いる,授業前に資料を見いる,授業前に資料を見いがでした。 「大きない」ではかいではからでは数1)(100%)では学倫理(30%)と多得とする.	また課題提出もMから資料をダウンに さることができるよりを確認し、授業内の%)およびパテントする。	コードして印刷 うな環境にして 容の把握に努め コンテスト発 週ごとの到達 実践工学の意 知的財産の概 グループの案 調べた類似発	し準備しておくこと. 資料を印刷しない おくこと. おくこと. けること. 明提案書(50%)で評価する. 目標 養と知財概要を理解できる. 要と重要性を理解できる. を決定し,類似発明を検索できる. 明を基に案の見直しができる.		
		・用します。は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	て熟知しておくこと 習】において、必要 学業において、必明 プレッ用しないことが を使事準】 全倫理の各するは 発明に課題の 里は提別が、1 重は知財(70%)、1 責60点以上を単位値 授業内容 オリエンテーション 知財の法制 知財課題演習(1回目 知財課題演習(1回目	アップロードする. でに応じてMoodle: 同して常に資料を見いる,授業前に資料を見いる,授業前に資料を見いがでした。 「大きない」ではかいではからでは数1)(100%)では学倫理(30%)と多得とする.	また課題提出もMから資料をダウンに さることができるよりを確認し、授業内の%)およびパテントする。	コードして印刷 うな環境にして 容の把握に努め コンテスト発 週ごとの到達 実践工学の意 知的財産の概 グループの案 調べた類似発	・ し準備しておくこと. 資料を印刷しない こおくこと. らること. 明提案書(50%)で評価する. 目標 養と知財概要を理解できる. 要と重要性を理解できる. を決定し,類似発明を検索できる.		
	1stQ	・用【・場・【・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	て熟知しておくこと 習】において、必要 受業にかいて、必明 ジレットしないこと を使用しないこと ・基準 発明では理のとする 発明では知りでの。 理は提出財(70%)、 理は規財以上を単位 授業内容 オリエンテーション 制財課題演習(1回目 知財課題演習(2回目	アップロードする. でに応じてMoodle: を見して常に資料を見 して常に資料を見 いら、授業前に資料 でデープレゼン(50 数1)(100%)で で学倫理(30%)と 多得とする. シ+知財概要説明 で情報プラットフォ 目) 目)	また課題提出もMから資料をダウンに さることができるよりを確認し、授業内の%)およびパテントする。	コードして印刷 うな環境にして 容の把握に努め コンテスト発 選ごとの到達 実践工学の意 知的財産の概 グループの案 調べた類似発 案の問題点を	し準備しておくこと. 資料を印刷しない おくこと. おくこと. けること. 明提案書 (50%) で評価する. 明提案書 (50%) で評価する. 目標 養と知財概要を理解できる. 要と重要性を理解できる. を決定し, 類似発明を検索できる. 明を基に案の見直しができる. 抽出して解決策を検討できる.		
		・用【・場・【・・・・・ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	て熟知しておくこと 習】において、必要 学において、必明 ジーでではいるである。 ジーでではいるできた。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般である。 一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	アップロードする. でに応じてMoodle: を見して常に資料を見 りら、授業前に資料 でデープレゼン(5) 数1)(100%)で で学倫理(30%)と 多得とする. シ+知財概要説明 P情報プラットフォ 目) 目)	また課題提出もMから資料をダウンに さることができるよりを確認し、授業内の%)およびパテントする。	コードして印刷うな環境にして容の把握に努め、コンテスト発 週ごとの到達 実践工学の概 グループの実 類の問題点を グループ内で グループ内で	し準備しておくこと. 資料を印刷しない おくこと. おくこと. おくこと. けること. 明提案書(50%)で評価する. 目標 養と知財概要を理解できる. 要と重要性を理解できる. を決定し,類似発明を検索できる. 明を基に案の見直しができる. 抽出して解決策を検討できる. 役割分担しながら,自主的に活動できる。		
		・用【・場・【・・・・・ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	て熟知しておくこと 習】において、、必要 以業において、、必要 ジレッ用しないとでを で使用しないとので、 を神にはいました。 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を	アップロードする. に応じてMoodle: 間して常に資料を見いる,授業前に資料を見いる,授業前に資料を見いる. でデーププレゼン(50 複数1)(100%)で は要倫理(30%)と を得とする. シ+知財概要説明 で情報プラットフォー 目) 目) 目)	また課題提出もMから資料をダウンに さることができるよりを確認し、授業内の%)およびパテントする。	コードして印刷うな環境にしているのででである。 ハコンテスト発 週ごとの到達 実践工学のの概 グループので 調へた類似系 なの問題点をで グループ内で ・グループ内で ・グループ	し準備しておくこと. 資料を印刷しない おくこと. おくこと. おること. 明提案書(50%)で評価する. 明提案書(50%)で評価する. 目標 養と知財概要を理解できる. 要と重要性を理解できる. を決定し,類似発明を検索できる. 明を基に案の見直しができる. 抽出して解決策を検討できる. 役割分担しながら,自主的に活動できる。 役割分担しながら,自主的に活動できる。		
授業計画		・用【・場・【・・・・ ・用【・場・【・・・・・ ・周 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	て熟知しておくこと 習】において、、必要 以上において、、必要 受業に大いて、必可 でしたいとでして、必可 でした。 では一年では、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一を	アップロードする. に応じてMoodle: 日して常に資料を見いる,授業前に資料を見いる,授業前に資料を見いせい(50類) (100%)では一切のでは、100%)では一切のでは、100%)と多得とする.	また課題提出もNから資料をダウンに含ことができるよりを確認し、授業内の%)およびパテント評価する.する.	コードして印刷で うなのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	し準備しておくこと、資料を印刷しない におくこと、 おくこと、 おること、 明提案書(50%)で評価する。 理標 養と知財概要を理解できる。 要と重要性を理解できる。 を決定し、類似発明を検索できる。 を決定し、類似発明を検索できる。 を決定し、類似発明を検索できる。 の見直しができる。 は出して解決策を検討できる。 のと動分担しながら、自主的に活動できる。 のと動分担しながら、自主的に活動できる。 を設計がある。またでは、 ないその重要性を説明できる。またで、 といていていていていていていていていている。 ドイメージおよびリコールについて説明にそれらと工学倫理との関連性について		
授業計画		 ・用【・場・【・・・・・ ・周【・場・【・・・・・ 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	て熟知していた。 必明知知知知知知知知知知知知知知知知知知知识的 では、 必明的 では、 では、 のの では	アップロードする. でに応じてMoodle: 同して常に資料を見ら、授業前に資料を見ら、授業がしてがでででででででででででででいます。では、100%)でで学倫理(30%)と多得とする。 ア・知財概要説明で情報プラットフォ目) 目) 目) 目)	また課題提出もNから資料をダウンに含ことができるよりを確認し、授業内の%)およびパテント評価する.する.	コーラ谷	し準備しておくこと. 資料を印刷しない だおくこと. おくこと. おること. 明提案書(50%)で評価する. 理標 養と知財概要を理解できる. 要と重要性を理解できる. を決定し,類似発明を検索できる. できる. は出して解決策を検討できる. は出して解決策を検討できる. 役割分担しながら,自主的に活動できる。 役割分担しながら,自主的に活動できる. 後割分担しながら,自主的に活動できる。 できる. できる. できる.		
授業計画	1stQ	 ・用【・場・【・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	て熟知して、	アップロードする. でに応じてMoodle: 同して常に資料を見いる,授業前に資料を見いる,授業前に資料を見いる。 「要数1)(100%)で、受倫理(30%)と多得とする。 マ+知財概要説明 で情報プラットフォ目) 目) 目) 目)	また課題提出もNから資料をダウンに含ことができるよりを確認し、授業内の%)およびパテント評価する.する.	コーラ容の コーラ容の コーラ容の コーラで に関する に関する に関する コープで に関する コープで に関する コープで に関する の学をのの 知り、 でのと でのと でのと でのと でのと でのと でのと でのと	し準備しておくこと、資料を印刷しないにおくこと、 おくこと、 おること、 明提案書(50%)で評価する。 理標 養と知財概要を理解できる。 要と重要性を理解できる。 を決定し、類似発明を検索できる。 を決定し、類似発明を検索できる。 を決定しの関連性について診明できる。 強出して解決策を検討できる。 役割分担しながら、自主的に活動できる。 役割分担しながら、自主的に活動できる。 後まよびその重要性を説明できる。また 徳・法律との関係を説明できる。また ボイメージおよびリコールについて説明 にそれらと工学倫理との関連性について 連性についても説明できる。 (PL法)と工学倫理との関連性につい		
注意点		 ・用【・場・【・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	て熟知していた。 必利にから、 で、 の利には、 の利に	アップロードする. だに応じてMoodle: 日して常に高いてMoodle: 日して常に資料を見いる, 授業前に資料を見いる では 1 (100%)で 数 1 (100%)で 学倫理(30%)と 8 (4 と 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	また課題提出もNから資料をダウンに含ことができるよりを確認し、授業内の%)およびパテント評価する.する.	コーラマ コーラマ コーラマ コーラマ コーラマ コーラマ コーラマ コーラマ コーラ エー	し準備しておくこと、資料を印刷しないでおくこと、 おくこと、 おくこと、 のること、 明提案書(50%)で評価する、 目標 養と知財概要を理解できる、 要と重要性を理解できる。 を決定し、類似発明を検索できる。 を決定し、類似発明を検索できる。 地出して解決策を検討できる。 他出して解決策を検討できる。 役割分担しながら、自主的に活動できる。 役割分担しながら、自主的に活動できる。 後割分担しながら、自主的に活動できる。 だイメージおよびリコールについて説明できる、また 徳・法律との関係を説明できる。また できる。さらに企業倫理とエ 連性についても説明できる。 (PL法)と工学倫理との関連性について		
授業計画	1stQ	 ・用【・場・【・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	て割ります。 では、	アップロードする. だに応じてMoodle: 記して常業前に資料を見ら、授業前に資料を見ら、授業がでして、投票でして、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	また課題提出もNから資料をダウンに含ことができるよりを確認し、授業内の%)およびパテント評価する.する.	コラマ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	し準備しておくこと、資料を印刷しないでおくこと、 おくこと、 おること、 明提案書(50%)で評価する。 明提案書(50%)で評価する。 明提案書(50%)で評価する。 要と重要性を理解できる。 要と重要性を理解できる。 を決定し、類似発明を検索できる。 明を基に案の見直しができる。 他出して解決策を検討できる。 役割分担しながら、自主的に活動できる。 役割分担しながら、自主的に活動できる。 役割分担しながら、自主的に活動できる。 できる。またで、 できる。またで、 できる。またで、 できる。といて説明できる。またで、 できる。ことは、 できる。		
授業計画	1stQ	 ・用【・場・【・・・・ 過週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	て熟りに表する。 必利にかく こと 必利にかく こと 必利にかく こと 必利にかて できます といい といい といい といい といい といい といい といい といい とい	アップロードする. だに応じてMoodle: 記して常業前に高いて所でに資料を見らり、授業前に資料を見なり、ではない。ではない。ではない。ではない。とのではないない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではないない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではない。とのではないない。とのではない。とのではない。とのではないない。とのではないない。とのではないない。とのではないないない。とのではないない。とのではないないないない。とのではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	また課題提出もNから資料をダウンに含ことができるよりを確認し、授業内の%)およびパテント評価する.する.	コーラ容 コーラ容 コーラ容 コーラ。 フーラ。 コー。 コータ。 コー。 コータ。 コー。 コータ。 コータ。 コータ。 コータ。 コータ。 コータ。 コータ。 コータ。 コータ。 コータ。	し準備しておくこと、資料を印刷しないでおくこと、 おくこと、 おくこと、 おること、 明提案書(50%)で評価する。 明提案書(50%)で評価する。 明提案書(50%)で評価する。 調整基に取り、類似発明を検索できる。 明を基に案の見直しができる。 抽出して解決策を検討できる。 独出しながら、自主的に活動できる。 役割分担しながら、自主的に活動できる。 役割分担しながら、自主的に活動できる。 できる。またで、 できる。またで、 できる。またで、 できる。またで、 できる。といて説明できる。またで、 できる。といて説明できる。 にていていて説明できる。 にていても説明できる。 にていても説明できる。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、		

	16週								
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標									
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	<u></u>			到達レベル	授業週	
評価割合									
		発表		課題		合計			
総合評価割	合	35		65		100			
知財		35		35		70			
工学倫理		0		30		30			

一厚	製工業高等	 等専門学校	開講年度 平成29年度(授業科目	
科目基礎		<u> </u>	175517 1/2 175725 1/2 ((2017 1/2)	JAKITH	<u> </u>
科目番号		0003		科目区分	専門 / 必修	
授業形態		実習		単位の種別と単位		
開設学科		共通専門	科目	対象学年	5	
開設期		集中		週時間数		
教科書/教	 数材	なし			•	
担当教員	Į	中嶋 剛,	二階堂 満			
到達目	標					
②インタ③インタ【教育目	ーンシップ ーンシップ I標】B.F	験の意義を理 実施。 の報告ができ 標】B-1, E-	ేవె.			
<u>【子音・</u> ルーブ [[]		保』D-1, E-	1, E-2			
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	ルの目安	未到達レベルの目安
①就学中 解する。	での就業体	験の意義を理	就学中での就業体験の意義を理解 できる。	就学中での就業体質できる。		就学中での就業体験の意義を理解 できる。
②インタ	ーンシップ	実施。	インターンシップを実施できる。	インターンシップ	を実施できる。	インターンシップを実施できない。
 ③インタ る。	ーンシップ	の報告ができ	インターンシップの報告ができる。	インターンシップ(インターンシップの報告ができな い。
		項目との関	-			<u> </u>
教育方法						
"次四/)/ 概要		この学習	は実社会における生産技術、製品管理 上に役立たせることを目標とする。		 ステムを学生時f	 弋に体験することにより、本科での
陇安						
授業の進	め方・方法	実習は、 ずれかに 受入企業	第3学年学年末休業期間中、第4学年 おいて1週間(実質5日間)以上実施 は学校が紹介するが、事前に受け入れ	夏季休業期間中、第4: すること。 1る企業側の業務内容	学年学年末休業期 、実習目的等をし	間中、第5学年夏季休業期間中のい いっかと勉強しておくこと。
注意点		実習後の	報告書・報告会の内容によって総合的 60点以上を単位修得とする。			
授業計	画	1				
322/1011		週	授業内容	退		
						の目的と意義について理解でき、学
		1週	1)受入企業の紹介		に反映できる。	
		2週				
		3週	2) 企業内での実習	2	st社の生産管理、 いて幅広く理解	製造技術、労働管理、経営方針等に する
	1stQ	4週			70・で個点 (2年)井	<i>y</i> 00
	ISIQ	5週	3) インターンシップ報告会			出する。また発表会での質疑応答を
		6週		1.	「つ。	
		7週				
前期		8週				
		9週				
		10週				
		11週				
		12週				
	2ndQ	13週				
		14週				
		15週				
		16週				
		1週				
		2週				
		3週				
	3rdQ	4週				
	3140	5週				
		6週				
,,, 11 -		7週				
後期		8週				
		9週				
		10週				
	41.0	11週				
	4thQ	12週				
		13週		+		
		14週				
	1	15週	1			

	16)	周							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標									
分類		分野	学習内容	学習内容の	到達目標		3	到達レベル	授業週
評価割合	ì								
				実習		合計			
総合評価割	合			100		100			
インターン	/シップ実施			70		70			
インターン	/シップ報告			30	·	30			